

**Info 1 東神戸呼吸器画像診断勉強会**

□ 日 時：2015年7月10日(金) 18時30分～20時00分  
 □ 場 所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)  
 □ 講 演：「胸部X線写真の読影の基本と肺疾患診断への応用」  
 座長：神鋼記念病院 副院長 鈴木 雄二郎  
 演者：国立がん研究センター東病院 放射線診断科 科長 楠本 昌彦 先生

**Info 2 神戸市中央区医師会 学術講演会①**

□ 日 時：2015年7月15日(水) 20時00分～  
 □ 場 所：神戸市中央区医師会館 (住所：神戸市中央区橋通4-2-1 Tel:078-351-1303)  
 □ 講 演：「神戸地区大腿骨頸部骨折連携パス運用状況について」  
 座長：神戸赤十字病院 脳神経外科 副院長 山下 晴央 先生  
 演者：神鋼記念病院 整形外科 部長 武富 雅則

**Info 3 神戸市中央区医師会 学術講演会②**

□ 日 時：2015年7月21日(火) 19時00分～  
 □ 場 所：灘区医師会3階(神戸市灘区水道筋1丁目24 神戸市医師会灘分館 Tel:078-861-5532)  
 □ 講 演：「乳がん個別化医療の進化(2015年版)」  
 司会：やまだ整形外科クリニック 院長 山田 博 先生  
 演者：神鋼記念病院 乳腺センター センター長 山神 和彦

**Info 4 これからの整形外科 地域連携を考える会**

□ 日 時：2015年7月30日(木) 18時30分～20時00分  
 □ 場 所：神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)  
 □ 講 演：「当院における大腿骨頸部骨折の状況」  
 司会：やまだ整形外科クリニック 院長 山田 博 先生  
 演者：神鋼記念病院 整形外科 部長 武富 雅則

**Info 講演会についてのお問い合わせ**  
 神鋼病院 地域医療連携センター地域医療連携室 担当：浅田  
 TEL：078-261-6739 (直通)

**Info 5 地域医療連携室 予約案内**

◆外来予約・検査予約・各種問合せ◆  
 TEL:078-261-6739(直通)・FAX:078-261-6728  
 受付時間：月曜～金曜 8時30分～19時00分 土曜 8時30分～12時00分

◆救急受診・転入院問合せ◆  
 TEL:078-261-6927(直通) FAX:078-261-6728  
 受付時間：月曜～金曜 8時30分～17時00分

※ 時間外に関しましては078-261-6711[代表]までお問合せ下さい。

# Medical News

2015年7月  
Vol.97

Shinko Hospital

Contents

- \*排便機能障害外来について
- \*感染症科医のつぶやき
- \*開業医探訪 「岡クリニック」
- \*お知らせ
  - ・講演会のご案内
  - ・地域医療連携室 予約案内

**神鋼記念病院理念**  
 地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

- 基本方針**
1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
  2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
  3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
  4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
  5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

**社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院**

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47  
 TEL：078-261-6711 (代表)  
 FAX：078-261-6726  
 URL：http://www.shinkohp.or.jp/  
 発行責任者：理事長 山本 正之  
 編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

患者教室などの  
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 検索

<http://www.shinkohp.or.jp/>

## 排便機能障害外来について

### 排便機能障害外来の立ち上げについて

大腸骨盤外科の錦織 英知(にしごりひであき)と申します。日々の便秘や、便失禁(便漏れ)など排便に関する症状で悩まれている患者さんを専門的に診療する外来を今春より立ち上げさせて頂きました。

以前より便秘や便失禁(便漏れ)などでお悩みの方は多くおられましたが、「恥ずかしくて誰にも相談することができない」など排便障害に対する羞恥心や、「そもそも病院で治療することなの？」など、なかなか病院へ足が向かないのが現状でした。

しかし最近、NHKの「ためしてガッテン」や、朝日放送の「たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学」などのテレビ番組でも、排便障害について取り上げられることが多くなり、病院で治療する一般的な疾患として認識されるようになってつつあります。

普段、排便障害でお悩みの方、精神的につらい思いをされている方、やりたいことが出来なくなっている方たちと我々スタッフが一緒に排便障害の治療に取り組むことで、患者さんの日常生活の質

(QOL)の向上に少しでもお役に立てればと考えています。

### 便秘について

『便秘』は若年の女性からお年寄りまで多くの方が悩まれている排便障害です。学校や仕事での不規則な生活、食生活の欧米化、ストレス、運動不足など様々なことが原因で便秘を起こします。

便秘はRomeⅢ(米国消化器病週間において決定された機能的消化管障害の新しい分類)における診断基準では次のように定義されています。

- ①排便の25%以上の頻度でいきみがある、②排便の25%以上の頻度で兎糞状便または硬便がある、③排便の25%以上の頻度で残便感を感じる、④排便の25%以上の頻度で直腸肛門の閉塞感または詰まった感じがある、⑤排便の25%以上の頻度で、排便・骨盤外を圧迫するなど排便の介助をしている、⑥排便回数が週に3回未満。以上、①～⑥の2項目以上の症状があること。

このような症状に当てはまる方は多くおられると思いますが、多くの方はそれほど

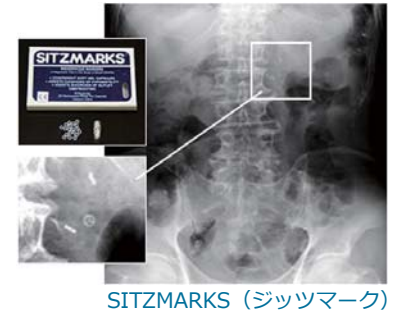
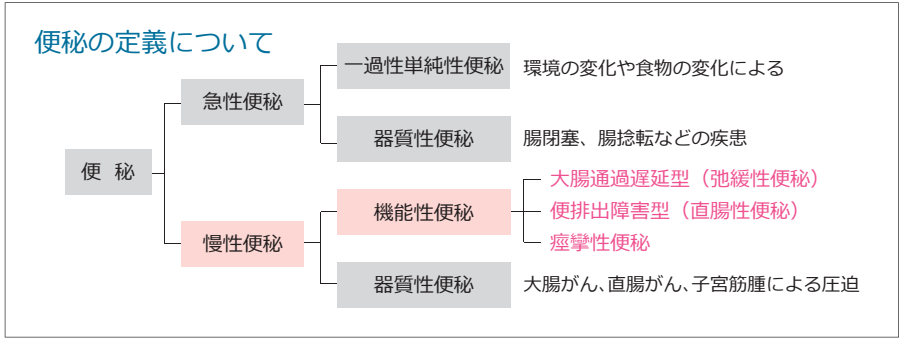


大腸骨盤外科 医師 錦織 英知  
Hidenori Nishigori

大阪医科大学を平成16年に卒業。日本外科学会専門医、日本癌治療認定医機構認定医、日本消化器外科学会専門医、消化器癌外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医などの資格を持つ。

重要視せず、市販の下剤などを使用されているのが現状と思います。しかしながら、下図のように便秘には様々な原因があり、原因・病態に応じた治療を提供する必要がありますと考えています。

当科では、放射線非透過性マーカー(SITZMARKS)を用いて腸管輸送能検査を行い、腸蠕動が遅い弛緩性便秘であるのか、直腸からの便排出障害型である直腸性便秘なのかを診断し、弛緩性便秘であれば生活療法、専門栄養士からの食事



SITZMARKS (ジッツマーク)

